



登下校時の見守りと 通学路の確保は

遠藤議員 通学における負担を軽くする手段としてスクールバスが導入されました。現状の路線の見直しが数年前から言われていましたが、「乗り場を増やして欲しい」との要望があります。

安全確保ができる旗を立てるなど停留所だとわかるようなものがが必要です。

谷教育長

本年6月、スクールバス運転業務委託業者に安全運転の徹底を指導し、比布駐在所と協議し、小学校一斉下校時にスクールバスに分乗して降車時に児童一人一人に交通安全指導を行いました。

スクールバスの利用については、自宅から学校まで概ね1.5キロメートル以上が対象であり、現在の登録者は96名で、夏期間は35名程度、冬期間は55名

Q

スクールバスの乗降場所を増設する考えはありますか

A 交通に支障が出ないように何か良い方法がないか検討したい

程度の生徒が利用しています。バスの巡回路線の選定や乗降場所については毎年登録者の住所を確認のうえ運行経路等を決定しています。この9月からは保護者の要望により乗降場所を1か所増設する柔軟な対応をしました。

マイナンバー制度の中止

個人情報保護の立場を

遠藤議員 マイナンバー(12桁の数字)が、すべての市町村から番号通知が郵送されます。民間大手企業の個人情報2700万人流出、年金情報流出(125万件)を受け、個人情報流出によるプライバシー侵害の恐れが現実化しています。

セキュリティーである個人情報保護の脆弱性が浮き彫りにもなり、完全に個人情報を守る効果的なシステムは確立されていません。

マイナンバー制度について町長の考えとセキュリティー対策を伺います。

反面、セキュリティー対策については、国や関係機関と連携を図りつつ、担当者の明確化や教育、インターネットを介して不特定な外部との通信を遮断するなど、制度面・システム面での安全対策を講じていきます。

まずは国による国民や企業に対する周知活動の徹底や総合的な情報セキュリティー対策の強化が重要と考えています。

また、国では今後段階的に利用範囲を拡大する考えであると聞いており、個人資産に関わる利用も想定されることから、安心・安全の観点に立った的確な

公共施設の整備と 安全管理を

遠藤議員 八坂公園や十字街メモリアル公園など公共施設の危険箇所・整備が必要な箇所があります。

計画的な施策と町民の要望も含めて、機敏に対応していき事故がおきない手だてが必要だと思えますので町長に伺います。

伊藤町長

公共施設は危険な状況にあつてはならず、施設の機能を十分果たしてもいなければなりません。更に美観を損ねないこと等も考慮しながら管理し、良好な状態で利用することが大切と考えます。利用頻度が少なく修繕に至らない施設や、危険防止のため立ち入り禁止の措置をしている施設がある事もご理解をください。今後、施設の在り方について検討していくことが必要との認識もしています。

植西議員 公営住宅の管理について、担当者が変わっても、住む人が安心して一定のサービスを受けられる体制が必要

です。例えば屋根の雪下ろしについて、特に二階建て団地の雪下ろしは危険が伴うこと、また共用部であることから管理者がするべき業務であるはず。しかしながら現実には住民の負担になっているようです。

また、修繕については、引き継ぎが適正に行われていないことが疑われます。例えば、入居時に壊れていたドアが1年以上放置され、修繕にいつ来るのか分らないケースがあります。また、住宅の管理担当者が修繕を必要としている物件、及びその箇所について、把握していない可能性があります。

管理の標準化、及び引き継ぎの適正化についての認識をお伺いします。

Q

公営住宅の管理基準について

A

行政側でできることを踏まえ適正に管理が行えるよう検討していきたい

また、管理のマニュアル化で住宅管理をより適正に行うため検討いたします。

伊藤町長 「屋根の雪下ろし」について、共用部であります。「住まいのハンドブック」の通り、住民にお願いしようと考えています。ただ、2階建ての団地については、危険を伴うため、対策をしましたが効果がありません。今後は、行政側でできることをしっかりとさらに検討します。

二つ目の「修繕箇所の引き継ぎ」について、改めて調査をし、対応を協議するよう指示をしました。

植西議員 対策を実施されたのは分りますが危険な状態が変わっていないのでさらなる対策をして頂きたいと思えます。また、長寿命化対策を構築中とのこと、その一端として、建物を残り何年使用するかを踏まえて公共サービスのあり方を検討し

てはいかがですか。

伊藤町長

常に安全には配慮

職員、従業者の 労務管理について

植西議員 行政が労務管理の責任を負うべく範囲は職員はもとより、業務委託した会社の従業者にも及ぶと考えられます。

安全管理について、どのような観点で安全の基準を判断されているのか、また、行政の共通認識を持ち合わせていますか。

また、長寿命化についても今建築中の公営住宅も含めしっかりと検討していきます。

また、不安な現場を改善しようという意識はありますか。

伊藤町長 各管理者は安全認識を持っていてのもの、それを基準にそれぞれの現場に対して再度点検をし、不安な状態は改善をします。

植西議員 衛生管理委員会の委員の方は、実際に危険ではないかと疑われる案件があった場合に、そこを調査する時間は設けられていますか。

伊藤町長 衛生管理委員会、衛生管理者についてはメンタル対策です。不安な状況があれば調査も考えていこうと思えます。

植西議員 ヒヤリハット情報を蓄積活用して事故防止対策をしていただきたいと思います。

伊藤町長 ヒヤリハット情報の大切さは感じているため、蓄積活用していきたいと思えます。